——イギリスへの旅から 第2信——

ホンコンからマルタまで

柴谷篤弘

8月15日神戸を出帆して以来，ホンコンに1週間滞在，シンガポールに2日半，ペナン，コロンボに各半日，ボンベイに1日，アデン，ポートサイドおよびマルタに各数時間滞在して，上陸，各地で蝶の採集につとめました。はじめてなのと時間がたりないのとで十分な効果をおさめることができませんでしたが，各地ともかならず少なくとも一つは蝶をとりました．全部で80種くらいになりましようか．各科平均していろいろとれました．目新しいものはあまりありませんが，ホンコンからマルタまで次第に蝶相の推移するのが何にもましておもしろく思いました．上陸するまではどんなものがいるかまったくわからないのですからね．

シンガポールは思ったよりも蝶が少なく，アゲハの類はほとんど見ません*．アゲハはホンコンに多く，ボンベイでも種類は少ない（コモンタイマイ，シロオビアゲハ）が個体数は多く見ました．しかし *Troides* の類はついにどこでも見ずじまいでありました．シンガポールでは，それでしかたがないので，3日間毎日たんねんに出あるいて，あついあつい道をあるき，植生の多そうな地帯をよって蝶をさがしました．すると，ごく限られたところ——ちよっと見ると何でもない鋪装道路のわきのみぞの草むらなど——に小さな蝶，いわずとしれたセセリやシジミの類が発見されました．その場所々々で特有な種類が，そこだけにかたまっているのです．そして同じ個体が何頭もとれました．このようにして *Ampittia* に属するらしいセセリを一挙に7,8頭短時間のうちに，はげしい自動車の往来するところでとりましたが，よそでは二度と見ませんでした．ゆけどもゆけども林といえばゴム林ばかりなのにとある工場のむかいに自然の沼地の林がすこしのこっているのを見つけて，そこにわけいりますと傾いた午後の日ざしに，明らかに *Lycaeninae* と思われるシジミチョウが現われたのはうれしいことでした．こうして紫褐色に銀線の入った小形の *Spindasis* をまとめてだいぶとりました．ブキテマ高地の頂上近くは，自然の植生が豊富に残っていますので，茂みのなかにも入ってシジミチョウをかなりとりました．*Spindasis, Arhopala, Rapala, Deudorix, Lycaenesthes* （？）などで，だいたい一カ所にかたまっているので，一度逃がしても，すぐにまた出てくるのでらくにとれました**．

これに対してタテハチョウは個体数も少なくどんどん移動するので一度にがすともうほとんどのぞみはありません．それでシンガポールではタテハモドキを何度も見ながらとれませんでした．しかし *Precis* はホンコンで1種(ジャノメタテハモドキ)，シンガポールで2種(アオタテハモドキと，もう一つ橙褐色の種類)コロンボで2種（灰白のものと黄色い小形のもの）をとりました．熱帯のタテハの代表的普通種の名にそむかぬと思います．

街などで見るシロチョウは一見ほとんど同じに見えても，場所場所で属がどんどん変りました．ことに *Catopsilia* やおそらくマダラシロチョウの類は，たいへん速くとぶので，よっぽど運がよくないと，とれません．これに反して大形のものでも *Delias* は各地に特有な普通種がいて，ミヤマシロチョウのようにゆるやかにとび，梢をめぐってとんでいてもすぐに低くおりてくるので，比較的らくにとれます．でもシンガポールではひとつのきれいな *Delias* をめがけて，あつい日ざしのなかをずいぶんねばったものでした．つぎに各地のシロチョウの印象をかいて見ます．（次頁表参照）

Mycalesis はペナンまで，*Ypthima* はコロンボまでおりました．*Mycalesis* は3〜4種あるとおもうのですが，分類しにくくてよくわかりません．シンガポールのあずき色をした白帯の広い種類は，なかなかとっておもしろいものでした．*Ypthima* は各地に多く日本の *Y. argus* の感じとそっくりで，あまりとりばえしませんが，次々と種類も変りおもしろかったものの

* これに反してコロンボの街および街はずれは，蝶の個体数も種類もすこぶる多く，たのしく忙しく数時間をすごせたのは意外でした．

** こういう点は日本での経験がものをいいます．だいたい蝶とりの技術はおなじようなものでよいようです．ワモンチョウだけは特別らしいですが．

ホンコン	*Terias hecabe*	*Delias* アカネシロチョウ	....	*Catopsilia* sp. *Pieris nandina*? (タイワンモンシロチョウ) *Huphina nerisa*
シンガポール	*Terias hecabe*	*Delias* sp.	*Appias libythea*	*Catopsilia* がいたがとれなかった
ペナン	*Terias hecabe*	*Delias* sp. (上と同じ) およびアカネシロチョウ	*Leptosia nina*	
コロンボ	*Terias hecabe*	*Delias eucharis*	*Leptosia nina*	
ボンベイ	*Terias hecabe*	*Delias eucharis*	*Catopsilia crocale*? *Huphina nerissa*	
アデン	....	....	....	白いチョウ (*Catospilia* か *Appias* みたい) がいたがとれなかった
ポートサイド	....	....	....	*Pieris rapae*
マルタ	....	....	....	橙色の *Colias* を見たがにがした
註	これは各地共通もっとも普通だ	この属は各地に共通数も多いものらしい	各地で代表的な蝶非常に多いもの	その他とったもの

ひとつです．ホンコンでは皆 *Y. baldus* らしい（後翅5眼)ですが，シンガポールでは植物園で *Y. baldus* らしいもの，ブキテマで見なれぬ小形で紋の大きい種類（後翅3眼）と台湾のオオウラナミジャノメに似た1種（後翅4眼）と2種類採集しました．ペナンでは前翅の眼状紋のむやみに大きいのに後翅の眼状紋が消えいりそうに小さいの(後翅5眼)をとりました．コロンボのものは断然変っていて後翅の半ば以上が雪のように白いもの(後翅にはしかし眼は4つくらいある)，とんでいても白っぽくてちよっと *Ypthima* とはおもえません．これは *Y. ceylonica* でしよう．

マダラチョウは各地にそれほど多くはないが，ポツポツその土地のものをとりました．赤いやつも青いやつも紫や褐色のやつもあります．スジグロカバマダラ，カバマダラなどの赤い *Danaus* がゆるやかに草地を舞うさまはまことに美しいものですし，とりやすいですが，胸をおさえても死にません．ツマムラサキマダラらしいものは胸をおさえると，genitalia のよこから黄色の毛のふさをおし出すのがいちじるしい．くさいかとおもって各種ともにおいをかいで見ましたが全然感じませんでした．

コロンボとボンベイではホソチョウの1種とおもわれる，ヒョウモンモドキに感じのちよっと似た種類をとりました．ホンコンでは Riodinidae の1種とコノマチョウらしい1種が目新らしく思いました．

Plebejinae のなかまでは，やはり *Zizeeria* か *Zizina* か，それに *Zizula* の類が多いようです．コロンボでは *Eucbrysops*, *Spalgis*, *Chilades* (？)など，ホンコンでは *Nakaduba*, *Lycaenopsis*, *Everes*, シンガポールではさきに申しました *Lycaenesthes* ともう1種小さい *Nakaduba* または近縁種をとりました．アデンのただひとつのチョウは *Everes* の1種．沙漠のなかのオアシスまで車を駆ってとりおさえたもの．マルタではとびふるしたものをひとつとりましたが，これは *Tarucus* ではないでしようか．

そのほかセセリも各地で精出してとりました．おもしろいのはホンコン，シンガポール，コロンボでとったものです．

タテハのなかで幸運だったのはホンコンのむかいの九龍の山でとったチョウセンミスジらしいものです．

蛾は意外にすくなく，昼飛性のものを少しとりましたが，ところによって草木をたたくとひとつの種類のメイガがわっととぶくらいのもの（ペナンとポートサイド）．ホンコンのビクトリアピークのケーブルや山の上の灯には何も来ませんでした．おりから霧さえかかったのに．しかし宿の灯には大形のヤガが来ていました．

採集にいちばんよさそうなのはペナンで，800メートル以上かと思われる(2700フイート)ペナン・ヒルは自然の植生ゆたかで山の上までケーブルもあります．ここが半日で，しかも前半は雨だったのが残念でなりません．夜になると冷えて来てその上雨があがり雲もなくなって上天気で，ケーブルの灯に来る蛾のとぼしかったのは皮肉なものです．この地だけはもう一度立ちよりたい気持が動きます．ほんとうの採集地という感じなのですから．